

入学時期:	11月生	学科:	上級行政科	コース:	17ヶ月	クラス	D
科目名:	ミクロ経済学・マクロ経済学					年次:	2年次
担当者:	増丸	単位:	2	授業時間:	30		

## ■授業概要・方法等

ミクロ経済学・マクロ経済学の講義・演習により、大卒程度の公務員採用試験に合格する実力を養う。

## ■学習・教育目標及び到達目標

経済の基本原理を理解し、計算及びグラフを読み取れるようになる。加えて、応用問題にも対応できるようにする。

## ■成績評価方法および基準

・試験(1回) 100%

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100~80	79~70	69~60	59~0

## ■教科書

『ミクロ経済』(本校独自)

『分野別過去問集 ミクロ経済』(本校独自)

『マクロ経済』(本校独自)

『分野別過去問集 マクロ経済』(本校独自)

## ■授業計画の内容

### 時間割上の科目名:[ミクロ経済学・マクロ経済学]

時数	内容
1 ~ 1	ミクロ経済学 ミクロ経済学序論(歴史, 市場の種類, 全体像, 利潤, など)
2 ~ 4	最適消費(無差別曲線, 効用, 予算線など)
5 ~ 6	需要曲線(需要の所得弾力性, 上級財と下級財, 需要の価格弾力性, 代替・所得効果)
7 ~ 7	収入と各種費用(平均費用, 限界費用, 平均可変費用など)
8 ~ 9	損益分岐点と操業停止点, 長期費用関数
9 ~ 10	市場の調整(ワルラス的調整, マーシャル的調整, クモの巣理論)
10 ~ 11	余剰分析, パレート最適
12 ~ 13	独占市場, 寡占市場(クールノー均衡, ゲーム理論, 屈折需要曲線)
14 ~ 15	公共財, 外部性, 貿易の利益, 比較優位
16 ~ 17	マクロ経済学 経済学序説, 国民所得と経済指標
18 ~ 22	財市場分析(45度線分析), IS-LM分析

23	～	24	労働市場, AD 曲線, AS 曲線, AD-AS 分析
25	～	25	古典派, 消費関数, 投資関数
26	～	27	ケインズ以降の学派, フィリップス曲線
28	～	28	インフレ AD・インフレ AS 分析
29	～	29	経済成長論(ハロッド=ドーマー成長論, 新古典派成長論)
30	～	30	国際収支, マンデル=フレミング・モデル

## ■履修にあたっての注意事項

本書に専念し, 受講した分野について過去問集を徹底演習していただきたい。

## ■その他